

「日本糖尿病インフォマティクス学会誌」投稿規定
The Journal of the Japanese Society of Informatics of Diabetes Mellitus
～学会誌は電子版のみで刊行します～

1. 投稿資格：投稿論文の筆頭者ならびに責任著者が本学会の会員であることを原則とする。本原則に沿わない場合には組上がり1頁あたり3万円の掲載料を求める。ただし、本学会から特別に依頼する論文については入会や掲載料を求めない。
2. 論文の区分：原著、総説、解説、症例報告、短報、資料、レター、活動報告、その他（ケアの工夫、書評、学会記録ほか）を主とする。最終的な区分を学会編集委員会で決定する場合もある。
3. 内容と採否：原稿は和文とする（英文の場合には別に相談する）。内容は本学会の主旨に即しており、オリジナルである必要がある。他誌からの再掲や他誌への投稿中の原稿は受け付けない。内容や文字数等について学会から指示のある場合にはその指示に従う。また、掲載にあたっては、依頼論文と活動報告を除いて、査読者による審査を受け、編集委員会で掲載の可否を判定する。
4. 倫理：国の定めた倫理指針（文部科学省、厚生労働省）を遵守し、施設の倫理審査委員会での承認を受けた場合にはそれを明記する。倫理的に問題があると判断される場合には掲載されない。
5. 利益相反：利益相反について文末に明記する。利益相反に問題があると判断される場合には掲載されない。また、別に定める利益相反申告書も投稿時に提出する。
6. 著者：全著者をタイトルページ（表題ページ）に明記する。責任著者を明示する。責任著者は論文の掲載過程に関わる連絡担当者となり、全著者を代表して当該論文の責任を負う。
7. その他：掲載された論文の著作権は日本糖尿病インフォマティクス学会に帰属する。別冊はPDFで送付する。
8. 原稿の送付先：日本糖尿病インフォマティクス学会編集委員会出版部（edit@uys.jp）に送付する。

— 執筆要領 —

1. 原稿はA4サイズの横書きとし、原則としてMicrosoft社のWordを使用し、標準的なフォント（MS明朝、Times）にて作成する。欄外右上にページを明記する。表がある場合にはMicrosoft社のExcelを用いて作成してよい。図がある場合には、編集可能なオリジナルデータをMicrosoft社のPower Pointを用いて別に作成する。
2. 原稿の構成：表題ページ（論文の区分、表題、著者名、所属、Corresponding Authorとその所属、所在地、電子メールアドレス）、和文抄録、キーワード、英文抄録（英表記された表題、著者情報、キーワードを含む）、本文とする。本文は、緒言、方法、結果、考察、結語、利益相反、謝辞、文献リスト、表、図の説明の順に記載することを原則とする。英文抄録は可能な限りで付ける（原著や短報以外では必須ではない）。この原則は、論文の区分によって変更できる；例えば、短報では結果と考察をまとめてよい。
3. 文字数：原著・総説・解説の目安は3,000～15,000字、症例報告は2,000～6,000字、短報・資料は1,000～5,000字、レター・活動報告ほかは500～5,000字とする。
4. キーワード：5語以内とする。
5. 表記の原則：
 - a) 文献の引用では右肩に番号を振り、引用の順に1から番号を当てる（例；¹⁾）。
 - b) 略語は初出時に正式名を記した後に（ ）内に示す。周知の略語でもこの原則に従う。
 - c) 度量衡の単位に関してはSI単位の使用が望ましい。
 - d) 細菌名、遺伝子記号はイタリック体で表記する。
 - e) 文献の形式は、生物医学雑誌に関する統一規定（改訂第5版）Uniform Requirements for Manuscripts Submitted to Biomedical Journals（いわゆる‘Vancouver’ style）に準じ、雑誌名の略記は医学中央雑誌収載誌目録略名表およびIndex Medicusに従う。著者が3名以下の場合には全員を記載し、4名以上の場合には初めの3名を挙げて以下を“その他”ないしは“et al”とする。

[学術雑誌論文]

安西慶三, 井上佳奈子, 松田やよい, その他. 地域・多職種が協働で行う糖尿病重症化予防；糖尿病医療情報を診療・研究にいかに関活用するか？. 日本糖尿病情報学会誌 2016; 15(1): 74-80.

Anzai K, Fukagawa K, Iwakiri R, et al. Increased lipid absorption and transport in the small intestine of Zucker obese rats. J Clin Biochem Nutr 2009; 45(1): 82-5.

[書籍]

Aller RD, Balis UJ. Informatics, Imaging, and Interoperability. In: Henry JB, editor. Clinical Diagnosis and Management by Laboratory Methods. 20th ed. Philadelphia: WB Saunders; 2001. p.108-37.

武井泉. 糖尿病. 編集 日本臨床検査医学会ガイドライン作成委員会, 臨床検査のガイドライン JSLM2018. 東京: 宇宙堂八木書店; 2018. p.399-408.

[Web資料]

保健医療情報の利活用に向けた工程表の策定について（オンライン）, 入手先 <<https://www.mhlw.go.jp/content/12600000/000605016.pdf>>, (参照 2021-09-24).